

まちの家計簿

市では毎年2回、市民のみなさんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などがどのように使われたのかをお知らせするため、財政状況の公表を行っています。
今回は、令和3年度末における歳入歳出予算の執行状況と令和3年度中に実施した主な事業の実施状況をお知らせします。

歳入

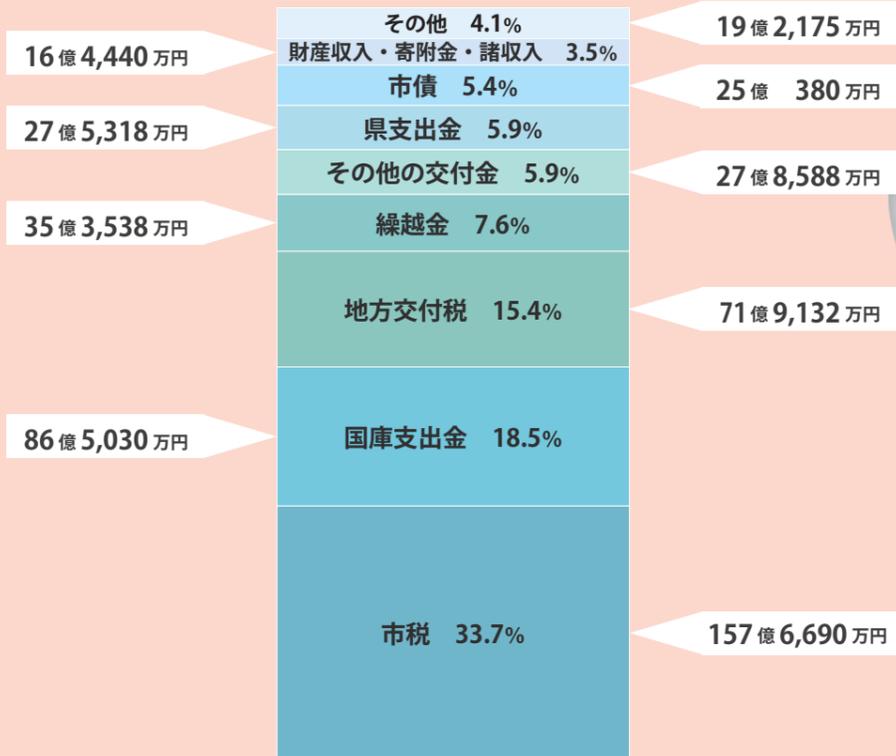
のうち市税は、紙加工品製造業の業績好調を背景とした大規模な設備投資などにより、約1億8千万円の増収となりました。また、ふるさと納税寄附金の大幅増などにより、財産収入・寄附金・諸収入が約5億4千万円の増額。そして追加交付のあった普通交付税を含む地方交付税が約7億4千万円の増額となりました。

一方で、特別定額給付金が前年度で終了した影響から、国庫支出金が約63億2千万円の大幅な減額となりました。

これにより歳入全体は、前年度より40億6187万円（8.0%）減の467億5291万円でした。

歳入

467億5,291万円



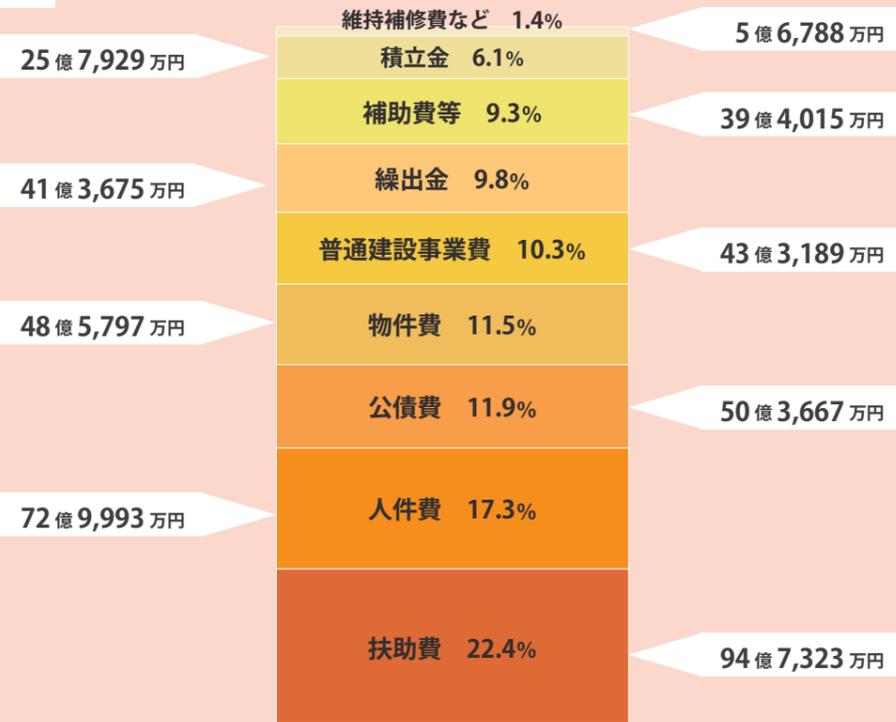
歳出

のうち扶助費は、新型コロナウイルス感染症対策に係る給付金の実施により、約18億8千万円の増額となりました。また、新たに公共施設の保全や更新などを計画的に実施していくための「公共施設等総合管理基金」を創設したことなどにより、積立金が約19億8千万円の増額となりました。

一方で、川之江地区整備事業などが前年度に終了したこと、普通建設事業費は約5億円の減額。また、特別定額給付金の終了により、補助費等が約80億2千万円の大幅な減額となりました。

歳出

422億2,376万円



市の財政状況を6人家族の家計に例えた「しこちゅ〜一家の家計簿」を作りました。ぜひご覧ください。



用語説明

一般会計 行政サービスの提供や市民の生活に欠かせない道路・橋りょうなどの整備をはじめとする、行政運営の基本的な経費

市税 市民税や固定資産税など、市民のみなさんや市内に事務所を持つ法人などが市に納めた税金

国庫支出金 市が行う特定の事業に対して、国から交付されたお金

地方交付税 国税の一定割合を財源として、地方公共団体が等しく一定水準の行政サービスが受けられるよう国から交付されたお金

繰越金 翌年度へ持ち越され、歳入に計上された剰余金

その他の交付金 国や県が徴収した税の一部が交付されたお金

県支出金 市が行う特定の事業に対して、県から交付されたお金

市債 市が行う公共事業などの財源を調達するための借金

財産収入・寄附金・諸収入 財産の売り払いなどによる収入、寄附金、他の収入科目に含まれない収入

その他 地方譲与税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金

扶助費 生活困窮している人、子育て世帯、障がい者などの生活を支援するための経費

人件費 職員の給料や議員の報酬など

公債費 借金の返済金

物件費 光熱水費、消耗品費、通信運搬費など

普通建設事業費（災害復旧費含む） 公共施設の建て替えや大規模な改築、道路や公園の整備・建設費など

繰出金 国保、介護、後期高齢など特別会計に支払う経費

補助費等 個人への謝礼や団体への助成金・負担金など

積立金 財政運営を計画的に行うための基金への積立金

維持補修費 道路や施設を維持するための修理費用など

- 他にも
- 社会資本整備総合交付金事業 4億1,312万円
 - 塩谷・小山線街路改築事業 1億2,587万円
 - 企業立地促進事業 6,751万円
 - デマンドタクシー運営費 4,552万円
 - 地域子育て支援拠点事業 3,374万円
 - 空家対策事業 576万円
- など、「あったか協働都市」の実現に向け、幅広い分野で事業を実施しました。



松柏小児童クラブ整備事業 6,662万円



高機能消防指令システム更新事業 2億5,630万円



小・中学校施設トイレ改修事業 4億8,818万円



コロナ対策関連経費 (小・中学校施設トイレ改修事業を除く) 47億6,074万円

令和3年度実施
主な重点事業

問い合わせ先
財政課 28-6007